

神戸市中央卸売市場 西部市場 食肉センター事業会計経営戦略 (令和3年3月策定)

1	事業概要	… 1
	(1) 事業形態 (2) 使用料形態 (3) 現在の経営状況	
2	将来の事業環境 (今後の見通し)	… 3
	(1) 取扱高 (2) 使用料収入 (3) 施設整備費 (4) 組織	
3	経営の基本方針	… 4
4	投資・財政計画 (収支計画)	… 5
5	公営企業として実施する必要性	… 6

神戸市 と畜場事業会計 経営戦略

団 体 名 : 神戸市

事 業 名 : 食肉センター事業

策 定 月 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適用	事業開始年月日	昭和40年11月
職 員 数	9名		
広 域 化 実 施 状 況	該当無し		
民間活用の状況	ア 民間委託	施設の管理運営の一部において実施(守衛、設備点検、監視等)	
	イ 指定管理者制度	該当無し	
	ウ PPP・PFI	該当無し	

(2) 料金形態

食肉処理使用料の 概要・考え方	牛 1頭につき 1,388円、豚 1頭につき 748円 ※病畜処理、時間外処理は1頭につき普通処理の使用料に5割を増した額 けい留 牛1頭につき 428円/日
その他料金の 概要・考え方	<p>【卸売業者市場使用料】 次の(1)及び(2)に掲げる額の合計額 (1) 卸売金額(税抜)の2/1,000 (2) (1)に掲げる額に10/100を乗じた額</p> <p>【市場施設使用料】 卸売業者売場使用料 1平方メートルにつき 310円/月 関連事業所使用料(事務所部分) 1平方メートルにつき 2,136円/月 (店舗部分) 1平方メートルにつき 940円/月 事務所、会議室使用料 1平方メートルにつき 2,136円/月 倉庫使用料 1平方メートルにつき 1,174円/月 冷蔵庫使用料 1平方メートルにつき 3,738円/月 部分肉加工施設使用料 1平方メートルにつき 2,243円/月 等</p> <p>係数の設定は農林水産省の定める「市場使用料について」(昭和48年9月)に準じている</p>
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	平成8年4月1日

(3) 現在の経営状況

年間処理実績 (頭) ※過去3年度 分を記載	年度	牛	馬	豚	子牛	その他	合計
	R元	10,387		13,292			23,679
	H30	11,030		13,752			24,782
	H29	10,458		12,103			22,561

収益的収支 (千円)	総収益	R元	526,928	H30	489,659	H29	483,488
	総費用	R元	526,928	H30	489,659	H29	483,488
	収支差引	R元	0	H30	0	H29	0
資本的収支 (千円)	資本的収入	R元	452,594	H30	415,946	H29	452,179
	資本的支出	R元	452,594	H30	415,946	H29	455,001
	収支差引	R元	0	H30	0	H29	△ 2,822

収益的収支比率 総収益／(総費用＋地方債償還金)	R元	69%	H30	68%	H29	70%
経費回収率 (料金収入＋その他営業収益)／(営業費用＋営業外費用＋地方債償還金)	R元	21%	H30	23%	H29	22%
他会計補助金比率 繰入金／(総費用＋地方債償還金)	R元	72%	H30	70%	H29	70%

【上記の収益、資産等の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】

- 収益的収支比率：経常費用が経常収益でどの程度まで賄われているかを示す数値。
100%以上が望ましいとされており、西部市場では過去3年間100%を下回っている。
- 経費回収率：使用料で回収するべき経費をどの程度賄えているかを示す数値。
100%が良いとされており、西部市場では過去3年間100%を下回っている。
- 他会計補助金比率：他会計繰入金への依存度を示す数値。
低いほど良いとされており、西部市場では繰入金への依存度が高くなっている。

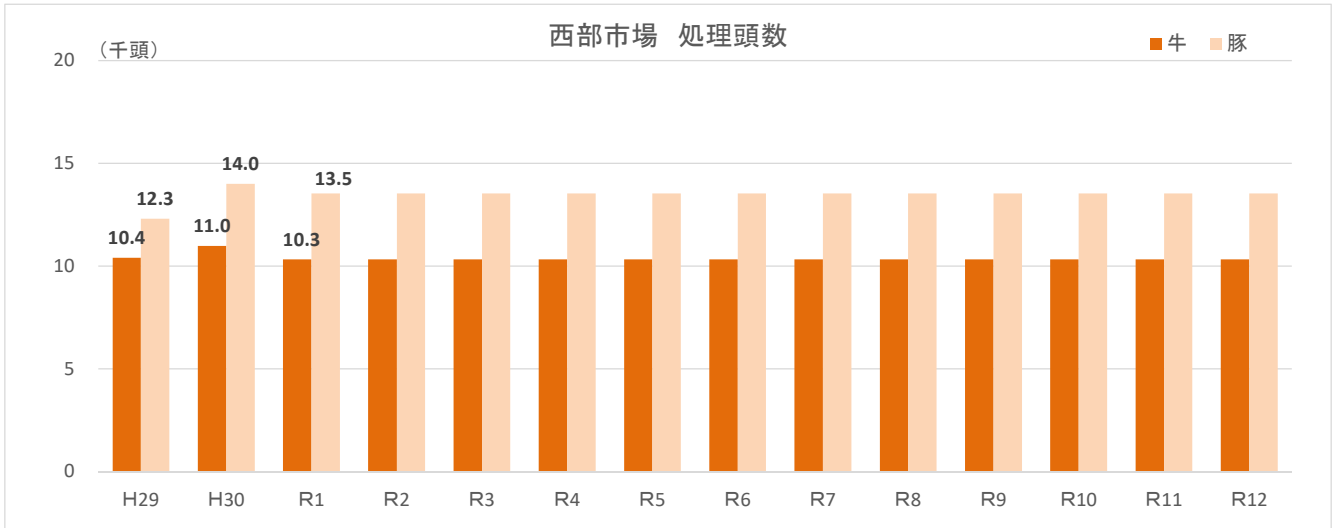
2. 将来の事業環境

(1) 処理頭数の見通し

肥育頭数の減少等によって、西部市場における牛の処理頭数は減少傾向にある一方で、豚の処理頭数はここ数年で増加している。引き続き、産地への出荷要請等に取り組み、処理頭数の維持に努めていく。

【見通しの条件】

・令和元年度の実績と同頭数。

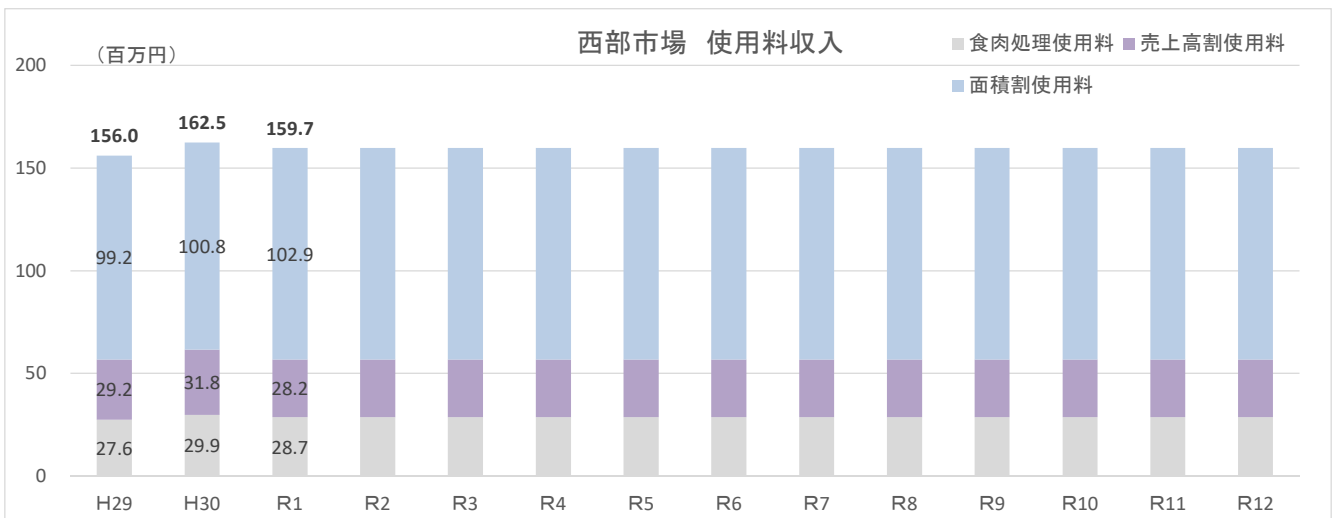


(2) 使用料収入の見通し

近年、使用料収入の合計額は横ばいで推移している。今後、処理頭数を維持することで使用料収入の確保に努めていく。

【見通しの条件】

・令和元年度の決算と同額。

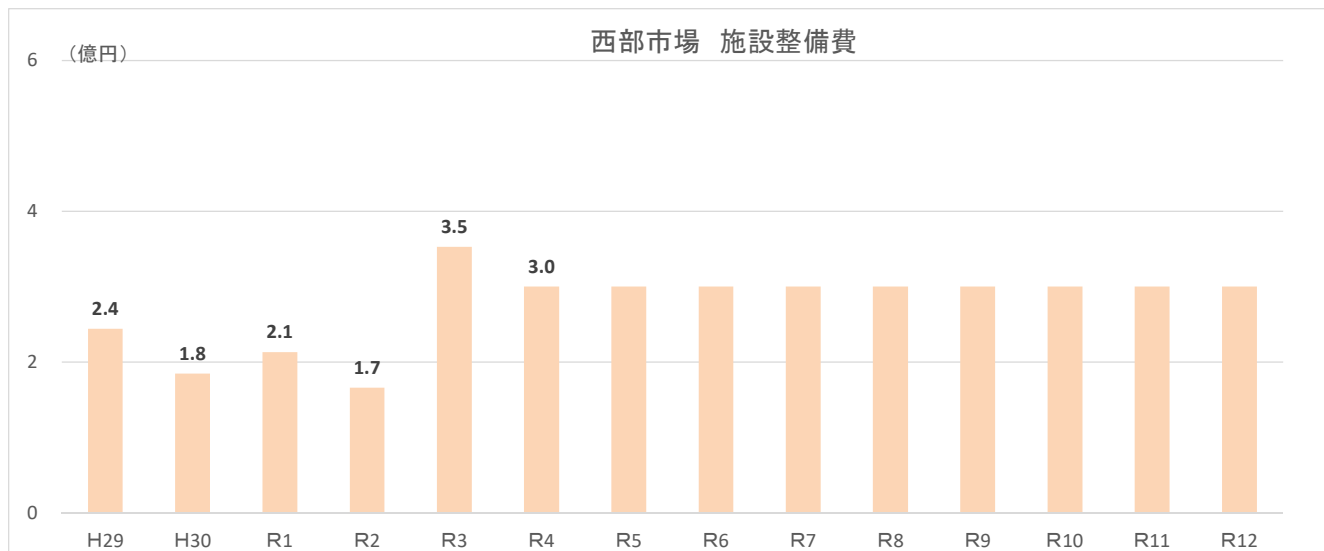


(3) 施設の見通し

前回の建替えから24年が経過し、施設及び設備等の老朽化が著しくなっているため、今後も計画的な保全を進めていく。
また、HACCPへの対応など、衛生基準の高度化にも対応していく必要がある。

【見通しの条件】

・費用の平準化の観点で踏まえた計画的な保全工事の実施



(4) 組織の見通し

人口縮減期を迎え、生産年齢人口の減少に伴う労働力不足が避けがたいものとして社会経済の前提条件となっているなか、機動的に環境変化に対応できるスリムな組織・職員体制を構築していく必要がある。

このため、「やめる・へらす・かえる」の視点に基づいた業務改革や事務事業の見直し、民間活力の導入などに取り組み、時代に適合した組織運営に努めていく。

(「行財政改革方針2025」参照)

3. 経営の基本方針

「産地や実需者から選ばれる神戸市中央卸売市場へ」を基本方針とし、
・取引参加者の創意工夫が発揮できるオープンで活発な取引環境の創出
・市場における卸売業者の役割・機能が発揮できる活発な取引環境の確保
を目指す。

4. 投資・財政計画(収支計画)

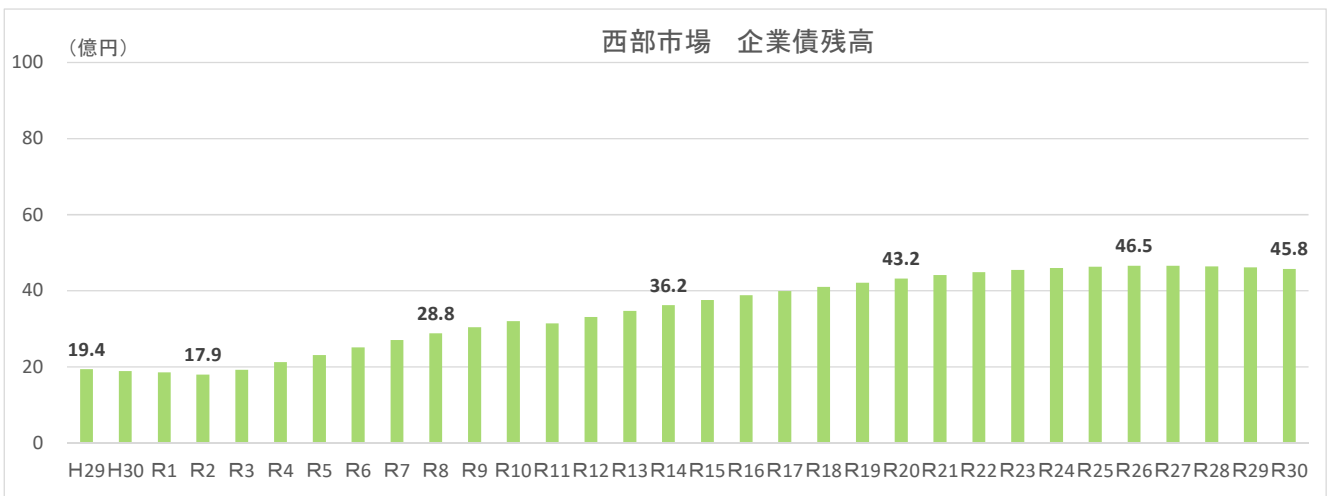
- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
 (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化対応、衛生機能強化に向けた施設整備の計画的な推進 ・事業費の平準化と将来負担を見据えた適切な規模での施設整備の実施
-----	--

【企業債残高の推計】
 平成6年～8年にかけて実施した施設の建替えから24年が経過し、企業債の残高が減少している。一方で老朽化した施設の計画的な整備により、今後は企業債残高の増加が見込まれる。

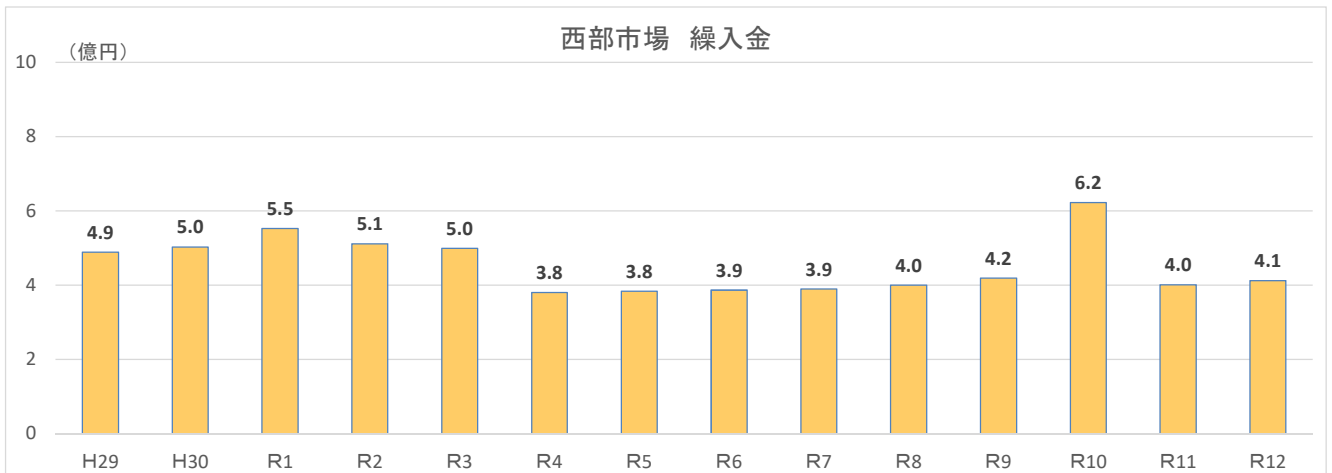
【企業債の活用条件】
 ・充当率が100%である公営企業債を活用し、施設整備費の財源として充当
 ・償還期間は25年(当初5年間は利息償還のみ)、年間利息1%で算定



② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の有効活用による使用料収入の確保 ・後年度の負担を見据えた適切な企業債の借入 ・一般会計繰入金の過大化の抑制
-----	---

【一般会計繰入金の推計】
 本市のと畜事業では特別会計を採用しているため、総支出額から使用料収入や国庫支出金、市債等の特定財源を除いた差額分を一般会計からの繰入金で賅っている。



③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

<p>【職員費】 西部市場の職員費を計上している。 これまでに守衛業務の委託化等によって費用の削減に取り組んできたところであり、引き続き、民間活力の導入や適正な人員の配置を検討していく。</p> <p>【管理運営費】 管理運営費として光熱水費や保守費用、警備費用等を計上している。 引き続き、事務事業の見直し等に取り組む、可能な限り費用の削減に努めていく。</p>
--

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	施設が老朽化しているため、整備の方向性を検討していく中で活用策についても検討する。
投資の平準化	今後作成する整備計画を精査し、可能な限り投資の平準化に努める。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	施設整備費、管理運営費等の状況等を踏まえて、適切な負担を検討する。
企業債	施設の耐用年数に応じた適切な借入期間の設定を目指す。 (現状は一律で償還期間25年、当初5年間は利息のみを償還)
繰入金	と畜場事業においては繰出基準が示されていないが、今後も可能な限り繰入金の削減に努める。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	委託料及び管理運営費は大半が固定経費であるため、今後の大幅な削減は困難であるが、引き続き、事務事業の見直し等に取り組む、可能な限り費用の削減に努めていく。
管理運営費	
職員給与費	民間活力の導入状況や、事業の進捗に応じた適正な人員配置によって、今後増減することが見込まれる。

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	食肉の衛生的な処理及び流通拠点としての機能を有しており、安心・安全な食肉の安定的な供給の役割を担っている。
公営企業として実施する必要性	衛生基準を満たした安全な食肉の安定的な供給や、適正な価格形成等の機能を維持していくため、今後も公営企業として継続することが望ましいと考えられる。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	施設整備の進捗や市場の在り方検討に合わせて、順次改定していく。
---------------------	---------------------------------

投資・財政計画
(収支計画)

(単位:千円, %)

区 分	年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		(E)+(I) (J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)
収 支 再 差 引	(E)+(I) (J)	△ 2,822													
積 立 金	(K)														
前年度からの繰越金	(L)	2,822													
前年度繰上充用金	(M)														
形 式 収 支	(J)-(K)+(L)-(M) (N)														
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)														
実 質 収 支	黒 字 (P)														
	赤 字 (Q)														
赤 字 比 率 ($\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$)														
収 益 的 収 支 比 率 ($\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$)	70%	68%	69%	68%	69%	82%	82%	82%	82%	81%	79%	60%	82%	81%
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金の不足額	(R)														
営 業 収 益 - 受 託 工 事 収 益	(B)-(C) (S)	155,975	162,460	159,714	159,714	159,714	159,714	159,714	159,714	159,714	159,714	159,714	159,714	159,714	159,714
地 方 財 政 法 に よ る 資 金 不 足 の 比 率	((R)/(S) × 100)														
健全化法施行令第16条により算定した資金の不足額	(T)														
健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額	(U)														
健全化法施行令第17条により算定した事業の規模	(V)														
健全化法第22条により算定した資金不足比率	((T)/(V) × 100)														
他 会 計 借 入 金 残 高	(W)														
地 方 債 残 高	(X)	1,941,785	1,894,660	1,857,393	1,792,673	1,921,035	2,123,019	2,316,384	2,509,356	2,701,049	2,884,041	3,048,977	3,198,503	3,144,847	3,313,535

○他会計繰入金

(単位:千円)

区 分	年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収 益 的 収 支 分		271,881	270,993	312,725	280,917	274,923	273,802	276,217	278,626	281,029	283,410	285,689	287,646	289,629	291,710
	うち基準内繰入金	271,881	270,993	312,725	280,917	274,923	273,802	276,217	278,626	281,029	283,410	285,689	287,646	289,629	291,710
	うち基準外繰入金														
資 本 的 収 支 分		214,179	231,946	240,057	230,721	224,637	106,635	107,029	108,306	108,708	116,651	133,164	335,205	111,859	120,629
	うち基準内繰入金	214,179	231,946	240,057	230,721	224,637	106,635	107,029	108,306	108,708	116,651	133,164	335,205	111,859	120,629
	うち基準外繰入金														
合 計		486,060	502,939	552,782	511,638	499,560	380,437	383,246	386,932	389,737	400,061	418,853	622,851	401,488	412,339